



家畜共済とは、農業災害補償法に基づいて実施されている公的な保険制度です。農業共済組合・農業共済組合連合会・国からなる三段階制によって運営されています。

畜産を支える家畜共済

家畜が病気になると、私たち人間と同じで食欲低下、発熱、下痢などの症状が現れ、発育不良や、場合によっては死亡します。その結果、おいしい畜産物を生産・提供できず生産者も消費者も困ることになります。家畜が病気になったときや死亡したときなどに、共済金を支払い畜産農家（生産者）の経営安定を支えているのが家畜共済（家畜の健康保険＆生命保険）です。

名護家畜診療所(伊江島駐在) 0980-49-2005
伊江村
国頭郡農業共済組合 0980-52-4082
名護市
名護家畜診療所 0980-52-1065
中央家畜診療所(中部支所) 098-965-5661
うるま市
沖縄県農業共済組合連合会 098-854-3411
那覇市
島尻・中頭郡農業共済組合 098-945-3293
南城市
中央家畜診療所 098-945-1027
久米島町
中央家畜診療所(久米島駐在) 098-985-2059
与那国町
八重山家畜診療所(与那国島駐在) 0980-87-2324
宮古群島
宮古郡農業共済組合 0980-72-7291
平良
宮古家畜診療所 0980-72-7113
多良間村
宮古家畜診療所(多良間島駐在) 0980-79-2503
八重山群島
八重山郡農業共済組合 0980-82-4780
登野城
八重山家畜診療所 0980-82-1217

家畜共済の対象

肉用牛、乳用牛、豚、馬が対象となっており、畜産業を営む方であれば

加入するには？
最寄りの農業共済組合まで連絡してください。農業共済組合の職員が家畜を確認し共済掛金を算定します。掛金を納めれば加入手続き完了です。

家畜が病気になったら？
家畜診療所へ電話しましょう。家畜診療所とは家畜の病院です。ここでは、獣医さんがスタンバイしていて、診療の依頼を受けると、いつでも往診に回ります。

家畜共済の魅力

- ① 共済掛金の1/2を国が負担します。（※家畜の種類によって若干異なります）
- ② 病傷給付限度額まで診療を受けられます。
- ③ 加入パターンが豊富にあります。

加入できます。ただし、種雄牛、種雄馬以外は全頭加入が原則となっています。

力所、農業共済組合四力所、家畜診療所九力所（駐在・支所も含む）があります。

お問い合わせ【県糖業農産課】TEL.098-866-2275 FAX.098-866-6339

あなたはウシ派？ それとも豚派？

日々、私たちが口にしている牛乳やお肉などの畜産物。「肉」と言っても牛肉、豚肉、鶏肉、馬肉、山羊肉など色々あるように、家畜にもいろいろな種類があります。肉だけを目的とする肉用牛や、牛乳の他バター、チーズ、アイスクリームなどの副産物まで目的とする乳用牛など、私たちが家畜の恩恵を受ける機会を少なくありません。ここでは、県内の主な畜産と元気の畜産を支える「家畜共済」について紹介します。

肉用牛

沖縄県の肉用牛農家のほとんどは、子牛を生産する繁殖農家です。県では、おいしい肉をたくさん生産するため、肉用牛の改良に取り組んでいます。



県産和牛肉

また、肉用牛のブランド化を図るため拠点産地の形成に取り組んでいます。

乳用牛

白黒まだらが特徴のホルスタイン種。ドイツのホルスタイン地方が名前の由来とされています。「乳用牛の女王」と呼ばれるほど産乳能力に優れています。しかし、ホルスタイン種は寒さに強く暑さに弱く、県では、亜熱帯の気候・風土に適した乳用牛の育成などに取り組んで、着実に成果を上げています。

ブタ



牛の美人コンテスト

ブタにはランドレース、大ヨークシャー、デューロック、ハンフシャーなど様々な品種があります。アグーもそれら品種のひとつ。「泣き声以外



ブランド豚(アグー)

は食べる」と言うほど沖縄の食には欠かせないブタ肉。県では、アグーのブランド化、「養豚振興アクションプラン」を策定し、養豚振興に取り組んでいます。

